

あ い さ つ

群馬県高等学校教育研究会

地理部会長 矢島 宣弘

平成24年度地理部会の諸事業も、第43号の会誌発刊をもって滞りなく終えることができました。これもひとえに会員の皆様をはじめ関係各位のご理解とご協力によるものと心より感謝申し上げます。

今年度の総会は、5月25日に前橋清陵高校で行い、永年にわたりご指導して下さい、3月末でご退職となった前部会長の飯塚光先生へ部会より感謝状を贈呈いたしました。また、新入会員として富井健太郎、中島厚、龍見陽介の3名の先生が加わり、会員数が準会員を含めて69名でスタートしました。同日の講演会では、元部会長で現在、太田情報商科専門学校長の若林宏宗先生に「中島飛行機から富士重工（スバル）へ」と題して講演をして頂きました。先生は永年にわたり太田市近現代史の研究もされており、史料等を用いて太田市の基幹産業の成立と発展をわかりやすくお話しして下さいました。

県内巡検は、8月6日、生澤英之、森貴由紀、梅澤英明、田村吉久の4名の先生の案内で甘楽富岡地域に向かい、午前は富岡製糸場を、午後は下仁田ジオパークと甘楽町のこんにやく博物館を視察しました。折しも「富岡製糸場と絹産業遺産群」が、ユネスコの世界文化遺産に推薦されることが決定した直後であったため、部会員の関心も高く、さらに顧問である茂木晃先生、飯塚光先生も参加して下さいました。当日は富岡市世界遺産まちづくり部富岡製糸場課の協力を得て、富岡製糸場総合研究センター所長今井幹夫先生に製糸場の歴史と文化について解説して頂き、その後、繰糸場やブリュナ館、後の女工たちが学んだ片倉富岡高等学園等を案内して頂きました。

さて、本部会は今年度新たな事業として「ICTワーキンググループ」を立ち上げ活動を始めました。これは昨年度までの3年間行ってきた国土交通省事業の「教育分野における地理空間情報活用推進に関する調査」の取組を部会独自で継承発展させて部会員のICT及びGISのスキル向上とその活用を研究しようというものです。前橋商業高校の田中隆志先生がリーダーとなって研修を重ね、12月14日に伊勢崎興陽高校において原澤亮太先生が地理Aの公開授業を行いました。今回も文部科学省教科調査官の濱野清先生にご指導頂いたことは、部会員の指導スキルの向上となり、大変意義あることでした。

2月5日の研究発表会並びに講演会では、ICTワーキンググループの研修報告と前橋高校の中村理恵先生から国際地理オリンピック強化合宿報告があり、元部会員で群馬地理学会並びに群馬地名研究会長の澤口宏先生より「利根川東遷と常陸川」と題するご講演を頂きました。春に次いで地理部会の大先輩により講演を賜りました。郷土をフィールドとした地域研究をライフワークとされているお二人のお話を伺うと、地に足のついた地理学研究的の原点はフィールドワークであると感じます。

終わりに、本部会で最近ホームページを開設しました。ここでは「ICTワーキンググループ」の取組を公開すると共に、全国の仲間とよりよい地理授業のあり方について情報交換し、やがては皆で共有できる地理教材のコンテンツを作りたいと考えています。